

光明禅寺

第496号

今和六年一月

現在に活きる
仏の教え

全かですることは恥ずかしい事ではない

いつでも笑顔 いつでも前向き

いつでも前進！ なるこそ、根性だ！

感動、感激、感謝！

失敗だと思つてやめるから、失敗

になるんだ！

難関は怖くない。怖いのは目標
を見失つたときだ。

かんばらない。あきらめない。
投げ出さない。(生き延びる三訓)

電話 22 4107 (2000東) 4121 090 7981 9123
FAX 241 3519

(県・市文化財指定安置所)
〒910-0402 指宿市十町南迫田二七六八

一月の行事

一 転大般若会祈願・修正会

一・二日 朝六時

一 曉天竺禅会

初二日曜(十四日) 朝六時
初四日曜(二十八日)

一 地藏尊・水子供養

二十三日 二時

新年のおよろこびを
申し上げます

昨年中は色々お世話様に
相成りまして誠に有難う
ございました。
今年もどうぞよろしく
お願い申し上げます

令和六年

元旦

住 野口良雄

◇ 御援助 薄 ◇

福澤美知子様 お花代を頂きました
その外に一名 お花代を頂きました。
皆様方にお知らせ致します。
有難うございます

湯の次地区にお住まいの池田美知子
様が、護持会費(年会費)を納入して
下さり、檀家に入檀して頂きました。
お知らせ致します。

訃報

玉利地区の下西ノ園一行様が、病氣
療養中でした。十二月二十七日六十六
歳を以て永眠致しました。

信徒

ある園の入居者の方で宮迫敏子
様が十二月三十一日 九十歳を以て永眠
致しました。

ここに故人の御冥福を切に
お祈りします。

元旦から能登半島地震・年明け
の一年の始まりなのに石川震度4で

大津波敬言報で日本海側の広範囲で観測された又建物倒壊、火災相次ぐ。二日には羽田空港事故、日航機、海保機と衝突、火上。日本に何かおきているのだろうか？何かの知ろせがあるのだろうか？きびしい一年の始まりかも知れない。お互いにた助け合い、頑張って一年をのりこえて行きますよう。

生命の尊さ、
「一年の計は元旦にあり」古来 禅
僧は元旦に「遺偈」を作成するを心得とします。ならば、怪我の功名、いたずらに痛さに震え苦しむよりも、「災い転じて福となさん」がために、み仏が私に与えて下さった試練と有り難く、受け止め、「命」を静かに考え

てみましよう。人は、この世に生をいただき、歳月を送る時、諸々の喜びや悲しみに出会います。それは予告なく突然に起こります。そして、それは時として生命をも簡単に奪い去ります。私たちは、日頃健康である時は、身は見えず、耳は聞こえて当たり前、自分の意志により、手や足が自由自在に動くことに、それほど有り難さを感じていません。ひとたびことが起こると、人間の五体において、何一つ無駄なものはなく、肉体の不思議と、生命の尊さを知らされ、「生かされている自己」に気づいた時、おのれの生命のみならず、生きとし生けるすべての生命に「畏敬の念」をもち、今あることに、無上の喜びひと感謝する心を再度忘れてはならないと、新年を迎えて改めて自覚

したいと思ひます。

新年とは、暦が帰るとともに、もの
みな改まる時であります。そうし
ためてたい時に当たり、仏様に感
謝し、世界と一家の平安を祈ること
は尊いことです。祈りというのは、
心に方向付けをすることです。
平和であつて欲しい、幸せであつてほ
しいという祈りによつて、人もまた
祈りの心に引転されていくわけであ
ります。

小杯一茶の

めでたさも中ぐらひなり俺らかはる
は、有名です。年寄りになつてみる
と、正月になつたからといつて特別め
でたいことがあるわけでもないし、とにか
く昨年も無事に過ぎして、こうし

て新年を迎えられて有り難いことだ
というよふな、落ち着いた老人の心境
を読んだものです。

清水径子という人は、

何をもて新年という田の鴉カラス

と詠んでいます。

カラスは不吉な鳥というけれど、正月だ
つてもいつもと変わらうず、田圃で日常
のままに遊んでいるじやないですか。

正月だつて、平生と何ら変わらうないこと
ではありませんか、という意味です。

いつもと変わらうめ平らな日常が一番
平和です。そこに「正月」という節目
をつけ、「祈り」と「感謝」という心で、

神仏の恵みや、喜びを輝かせていくのが
お正月かと思ひます。

お正月を契機にいたしました。平和を
祈り、感謝いたしたいものであります。